奈良若草山

1,000年に及ぶ鹿との共生関係に学んだ

しかポロン®

～鹿共生緑化工法～

特許
第6871579号
取得

従来行われてきたのり面緑化の鹿対策は、鹿を緑地へ「入れない・食べさせない」ものでした。
しかポロンは、考え方を180°転換し、緑地へ「入れる・食べさせる」、全く新しい鹿と共生する緑化工法です。
鹿も日本の生態系の一端を担う大切な「いのち」。
［対立］から［共生］へ、鹿と共生する新しい緑地環境を再生していきませんか?

しかポロンのメカニズム

年間を通じて施工可能な4種類の「しかポロン［鹿共生緑化工法］」から、現場に適した工法によりノシバを導入・生育させ対象地を緑化します。
ノシバの緑化面積が増えると共に鹿によるノシバの採食が始まります。
採食行為は人為的な草刈り作業の代替となって、上方への生育が抑制されたノシバは水平方向への生育が活発化、芝の密度が高まって緑化が早まります。
鹿はノシバの採食と共にフンをしますが、フンには養分が含まれるため、ノシバへの人為的な施肥作業（追肥）の代替となります。
ノシバ結実期に鹿による採食が行われると、鹿のフンからはノシバ種子が発芽します。鹿が移動してフンをすることでノシバ種子が周辺にも散布され、ノシバの緑化面積を広げる効果が期待できます。
このように、「しかポロン」は、鹿の行動とノシバの特性を組み合わせたユニークな工法です。
鹿とノシバが共生することで、持続的にノシバの緑化地が維持されます。

! しかポロン工法の特徴

1. **日本原産種子の使用**
…鹿と共生できる【日本原産】ノシバの種子を使用し、鹿の侵入対策を実施せずとも地表面を覆った侵食防止対策が確保される。
2. **鹿の踏み荒らしを防止** …シート・マットの破損を防止する金網の使用しているため、ノシバが被覆するまでの間も斜面を保護できる。
3. **施工時期を問わない**
…暖地型芝草であるノシバの生育特性を考慮し、施工時期に応じた特徴の異なるシート・マットや、初期生育を活性化する植物活性剤の活用等で、1年を通じて施工できる。
4. **施工地以外への緑地の広がり** …鹿によってノシバが施工地以外の周辺へと広がり、新たな緑地を広げる可能性がある。
5. **低コスト** …獣害防止柵などの設置を省略することができ、低コストな鹿対策緑化として活用出来る。

しかポロン工法の種類

しかポロン工法は、人力施工の①しかポロンシート、②しかポロンマットと、
吹付機械によって施工する③しかポロン種子散布工、④しかポロン吹付工があり、地山条件や施工時期によって使い分けます。

適用範囲≫	盛土斜面	土砂斜面～強風下岩等	風化岩等
仕 様≫ 〈資材の種類〉 しかポロンシート しかポロンマット 春・夏施工型 ・光を通し、乾燥を防止する不織布シート ・ランナーが潜り込まない目の粗いジュートネットの使用 しかポロンシート しかポロンマット 秋・冬施工型 ・次期の温暖な発芽・生育期まで保護するワラシートの使用	①しかポロンシート 人力施工 ［亀甲金網付］ ③しかポロン散布工 機械式施工 ［ノシバ種子散布＋ベンネット敷設］ 種子散布の様子	②しかポロンマット 人力施工 ［基盤・肥料帯、亀甲金網付］ ◀しかポロンマット 春・夏施工型 しかポロンマット▶ 秋・冬施工型 ④しかポロン吹付工 機械式施工 ［短繊維入り植生基材吹付（t=2cm）＋しかポロンシート敷設］ ◀吹付工 ▼しかポロンシート（ワラシート） 	

※ノシバは暖地型芝草であるため、施工時期により資材を使い分けますが価格は変わりません。

鹿は種子を運ぶ「緑化協力獣」

ノシバから見ると鹿は、

- 競争相手である背の高い植物を除去してくれる。
- 種子を散布してくれる。
- 種子は傷つけてもらうことによって発芽が刺激される。

〈高槻成紀（1999）シカが育てるシバ草原 動物たちがつくる森 築地書館 p.65-82〉

【お問い合わせ先】
国土防災技術株式会社 事業本部 環境事業部 緑環境事業課
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号 TEL：03-3432-3567

Benidai 紅大貿易株式会社 緑化事業部
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-3 第25中央ビル TEL：03-3256-0551